

平成17年度大台ヶ原自然再生推進計画評価委員会 設置要領（改正案）

（名称）

1. この会議は、「大台ヶ原自然再生推進計画評価委員会」（以下「評価委員会」という）と称する。

（目的）

2. 評価委員会は、平成17年1月に策定された「大台ヶ原自然再生推進計画」（以下「推進計画」という）の実施に関し、環境省自然環境局近畿地区自然保護近畿地方環境事務所長（以下「事務所長」という）に意見を述べることを目的とする。

（検討事項）

3. 評価委員会においては次の事項を検討する。
 - （1）推進計画の実施に必要な調査に関する事項
 - （2）推進計画の実施状況を踏まえた評価に関する事項
 - （3）その他、大台ヶ原の自然再生の推進に必要な事項

（構成）

4. （1）評価委員会は、近畿地方環境事務所長から委嘱された別表に掲げる委員及び関係機関をもって構成する。
 - （2）事務所長は、評価委員会に委員以外の学識経験者や関係機関等の参画を求めることができる。

（評価委員会の組織等）

5. 評価委員会の組織等は以下のとおりとする。
 - （1）評価委員会に森林生態系部会、ニホンジカ保護管理部会及び利用対策部会を置く。
 - （2）必要に応じ、二以上の部会は合同部会を開くことができる。
 - （3）各部会は、必要に応じ、学識経験者等からなるワーキンググループを置くことができる。
 - （4）評価委員会、各部会及び合同部会はそれぞれ所属する委員の2分の1以上の出席をもって開催することとする。
 - （5）各部会及び合同部会は、各部会及び合同部会の決定をもって評価委員会の決定とすることができる。

（部会の所掌）

6. （1）森林生態系部会は、推進計画のうち「森林生態系保全再生計画」の実施に関する事項を所掌する。

- (2) ニホンジカ保護管理部会は、推進計画のうち「ニホンジカ保護管理計画」の実施に関する事項を所掌する。
- (3) 利用対策部会は、推進計画のうち「新しい利用のあり方推進計画」の実施に関する事項を所掌する。

(会長・部会長)

- 7. (1) 評価委員会に会長をおき、委員の中から互選により選出する。会長は評価委員会の議長を務めるとともに、会務を統括する。
- (2) 各部会に部会長をおき、委員の中から互選により選出する。部会長は各部会の議長を務めるとともに、会務を統括する。
- (3) 各部会長は所属する部会以外の部会及び合同部会に出席し、意見を述べることができる。
- (4) 合同部会に合同部会長をおき、その都度検討する議事を勘案し、部会長の中から互選により選出する。合同部会長は合同部会の議長を務めるとともに、会務を統括する。

(運営・事務局)

- 8. (1) 評価委員会、各部会及び合同部会の運営に関する事務は、環境省自然環境局近畿地区自然保護近畿地方環境事務所が行う。
- (2) その他運営に関して必要な事項は評価委員会で決定する。

(情報公開)

- 9. 評価委員会、各部会及び合同部会は公開で行う。ただし、貴重な動植物の保護、プライバシーの保護等、慎重な取り扱いを必要とする情報については、非公開とする。

(任期)

- 10. 委員の任期は平成 ~~18~~19年3月31日までとする。

(要領改正)

- 11. この要領は、委員及び関係機関の発議により、評価委員会の会議に出席した委員及び関係機関の合意を得て、改正することができる。

(附則)

- ~~11~~12. この要領は平成17年8月30日から施行する。
平成18年 月 日 一部改正